

標準財務指標を組み込んだ Web版「農業経営診断サービス」

実績に乏しい新規就農者や積極的な事業展開を図る農業経営においては、経営悪化の兆候を早期に発見し改善策を講じるための農業経営診断を適時に行うことが重要です。そして、このような経営診断を行う際には、診断対象の属性に適合した標準値が必要であり、その標準値は、営農類型だけでなく地域性や規模、品目等を考慮する必要があります。

そこで、営農類型・地域・規模・品目の区分を設けた標準値データベースを構築するとともに、この標準値を用いた経営診断を行える Web アプリケーションを開発しました。

☆ 技術の概要

1. このサービスでは、対象経営の実績値をもとに診断指標を算出するとともに、データベースに内蔵する標準値を用いた判定ロジックに沿って各指標のランクを表示します。
2. 利用手順は、まず Web サイトにアクセスした上で「対象属性の設定」「経営概況データの入力」「生産物の選択・設定」「財務諸表データの入力」を行った後、経営診断を実行します。経営類型は、営農類型・地域・規模を組み合わせたものであり、露地野菜、施設野菜、果樹については売上高に占める販売金額の割合が最大の品目を特定して診断します。
3. 出力結果は、経営全体と生産している作目別に、それぞれの概況と診断指標を表示します。概況については対象経営の実績値と標準値を示し、診断指標については実績値と標準値に加えて判定ランクを示します（表）。

表 診断結果の例示

		出力項目		実績値	標準値	判定
経営全体	診断指標	土地生産性	経営耕地面積10a当たり売上高（千円/10a）	62.2	131.0	C
			経営耕地面積10a当たり経常利益（千円/10a）	26.7	45.6	B
		原価率	売上高材料費率（%）	32.1	15.1	D

注：各指標のランクは、良好な順に、S、A、B、C、Dの5段階である。その判定ロジックは、標準値を平均 μ とし、正規分布を仮定して平均 μ と標準偏差 σ を用い、Sは「 $\mu + 1.25\sigma$ 以上」(10%)、Aは「 $\mu + 0.25\sigma \sim \mu + 1.25\sigma$ 」(30%)、Bは「 $\mu \pm 0.25\sigma$ 」(20%)、Cは「 $\mu - 1.25\sigma \sim \mu - 0.25\sigma$ 」(30%)、Dは「 $\mu - 1.25\sigma$ 未満」(10%)である。

☆ 活用面での留意点

1. このサービスは、青色申告を行う農業者や法人経営が自経営を診断する際に活用できるだけでなく、普及指導機関やJAの営農指導員等が経営指導を行う際に活用できます。
2. 標準値データベースは、農林水産省統計情報部の農業経営統計調査（営農類型別経営統計（個別経営、組織法人）の2008～2010年、生産費統計（米、小麦、大豆、さとうきび、てんさい、牛乳、子牛、乳用雄育成牛、交雑種育成牛、去勢若齢肥育牛、乳用雄肥育牛、交雑種肥育牛）の2004～2010年）の個別結果表を再集計して構築しています。
3. 農研機構経営管理システムのWebサイト（<http://fmrp.dc.affrc.go.jp/>）から無料で利用できます。